

2018年12月期

第2四半期 決算説明資料

2018年7月25日
株式会社 正興電機製作所

1. 2018年12月期第2四半期決算ハイライト

- (1) 第2四半期 連結業績
- (2) 通期業績見通しについて
- (3) 配当金について

2. 2018年12月期 第2四半期決算

- (1) 連結損益計算書
- (2) セグメント別業績
- (3) 連結貸借対照表
- (4) 連結キャッシュフロー計算書

3. 参考資料

- (1) セグメント別重点課題と業績見通し
- (2) 売上・営業利益の推移



1. 2018年12月期第2四半期決算ハイライト

(1) 第2四半期 連結業績

- ✓ 売上高は環境エネルギー部門が下期にずれこむも、電力部門・サービス部門が増加。
- ✓ 営業利益は電力部門が改善。連結業績は増収増益。

単位：百万円

	2017年12月期 第2四半期	2018年12月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	9,377	10,200	823	8.8%
営業利益	410	450	39	9.7%
経常利益	426	475	49	11.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	287	307	20	7.0%

(2) 通期業績見通しについて

- ✓ 電力部門は情報制御システム分野が堅調に推移。
- ✓ 環境エネルギー部門は下期に大口案件の売上で増加。
- ✓ そのほかの部門においても、前期に対し改善傾向。
- ✓ 連結業績は増収増益の見通し。

単位：百万円

	2017年12月期 通期実績	2018年12月期 通期見通し	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	20,002	21,500	1,498	7.5%
営業利益	835	1,000	165	19.7%
経常利益	877	1,000	123	13.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	615	680	65	10.4%

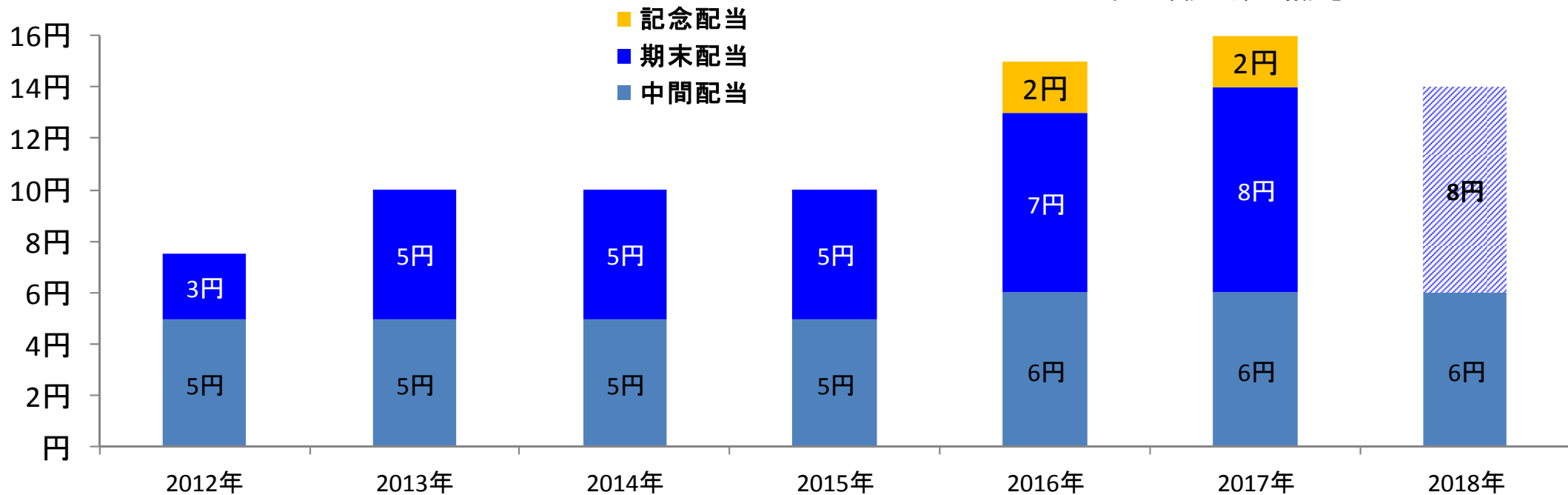
(3) 配当金について

	2018年12月期			2017年12月期(参考)		
	中間配当 (実績)	期末配当 (予定)	年間 (予定)	中間配当	期末配当	年間配当
1株当たりの配当金	6円	8円	14円	6円	(注) 10円	(注) 16円

中間配当:効力発生日 8月24日

(注)

2016、2017年の期末配当金は記念配当を含む
 2016年…創立95周年記念配当金 2円
 2017年…東証二部上場記念配当金 2円





2. 2018年12月期 第2四半期決算

2. 2018年12月期 第2四半期決算

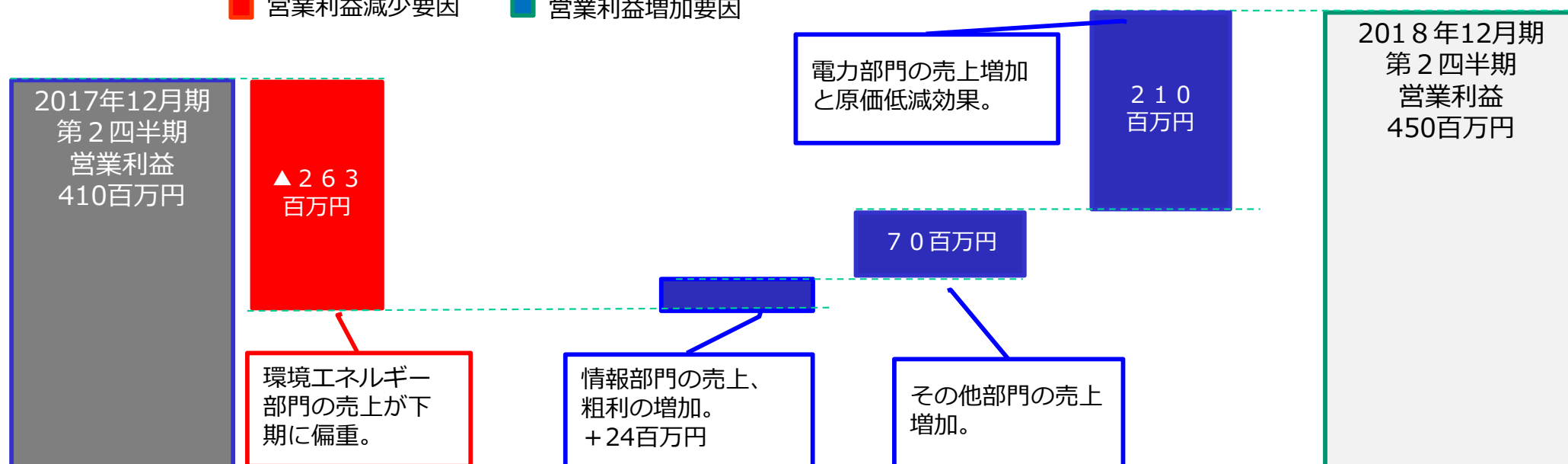
(1) 連結損益計算書

単位:百万円

	2017年12月期 第2四半期	2018年12月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	9,377	10,200	823	8.8%
営業利益	410	450	39	9.7%
経常利益	426	475	49	11.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	287	307	20	7.0%

● 営業利益増減要因

■ 営業利益減少要因 ■ 営業利益増加要因



(2) セグメント別業績

単位: 百万円

	売上高			セグメント利益		
	2017年12月期 第2四半期	2018年12月期 第2四半期	前年同期比 増減率	2017年12月期 第2四半期	2018年12月期 第2四半期	前年同期比 増減額
電力部門	2,075	2,416	16.4%	52	262	210
環境エネルギー部門	5,599	5,031	▲10.1%	295	31	▲263
情報部門	455	486	6.9%	23	47	24
サービス部門	642	1,216	89.3%	26	24	▲1
その他	603	1,048	73.6%	12	83	70

✓ 電力部門

電力システム改革対応など情報制御システム（OT・IT）や配電設備向け製品の売上が増加。
また、原価低減などの取組により利益改善。

✓ 環境エネルギー部門

道路設備向け受配電システムや水処理設備向け監視制御システムの受注取込みは堅調に推移するも、
下期に大口案件および付加価値の高い監視制御システム関係が集中。売上、利益ともに減少。

✓ 情報部門 介護認定システムの更新需要が増加。開発案件も堅調に推移し売上、利益増加。

✓ サービス部門 太陽光を中心に再生可能エネルギー設備向け関連製品の売上が増加するも高付加価値案件が
少なく利益減少。

✓ その他 船舶向けインバータ製品が堅調に推移したことや、発電所向け工事が増加し利益改善。

(3) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2017年12月末	2018年6月末	増減額
	流動資産	13,333	10,991	▲2,341
	固定資産	7,956	7,784	▲171
資産合計		21,289	18,776	▲2,513
	流動負債	9,622	7,034	▲2,588
	固定負債	2,885	2,817	▲68
負債合計		12,507	9,851	▲2,656
純資産合計		8,782	8,924	142
負債・純資産合計		21,289	18,776	▲2,513
自己資本比率		41.3%	47.5%	—

(4) 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2017年6月末	2018年6月末	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	280	2,625	2,345
投資活動による キャッシュ・フロー	▲343	▲24	319
財務活動による キャッシュ・フロー	▲213	▲2,670	▲2,456
現金及び現金同等物の期末残高	1,281	1,152	▲129



3. 参 考 資 料

(1) セグメント別重点課題と業績見通し

【電力部門】

- **電力システム改革に対応した製品・システムの受注取込みと体制の強化**
 - ・ 発送電分離や再生可能エネルギーに対応した系統、配電、基幹業務システム
- **老朽化設備の更新需要、次世代型製品（環境配慮）の開発、モノづくり改善による競争力強化（品質、コスト、納期）**
- **IoTを活用した安全、安心、効率化を実現する製品・システムの開発および拡販**
 - ・ 設備、備品管理システム、保守メンテナンス、自動監視システムなど

(単位：百万円)

		2017年12月期	2018年12月期	
		実績	見通し	前期比増減
電力部門	受注高	4,616	5,500	+19.2%
	売上高	4,334	5,000	+15.4%
	セグメント利益	105	200	+90.5%
	セグメント利益率	2.4%	4.0%	+1.6%

【環境エネルギー部門】

- **社会インフラ設備向け監視制御システム、受配電システムの施工体制の強化**
(浄水場、下水処理場、高速道路向けなどの電気設備工事)
- **新エネルギー、再生可能エネルギー分野に対応したシステム製品の受注拡大**
 - ・ 太陽光、小水力、風力発電向け受変電、監視制御システム
 - ・ 蓄電システムを活用したエネルギーマネジメントシステム
- **海外事業の拡大に向けた基盤の強化**
 - ・ 中国におけるメンテナンス、リニューアブル市場の拡大
 - ・ 東南アジア市場の開拓 (事業体制の強化、パートナー開拓)

(単位：百万円)

		2017年12月期	2018年12月期	
		実績	見通し	前期比増減
環境 エネルギー 部門	受注高	11,977	11,900	▲0.6%
	売上高	11,347	10,800	▲4.8%
	セグメント利益	597	510	▲14.6%
	セグメント利益率	5.3%	4.7%	▲0.6%

【情報部門】

● 港湾ソリューション分野の業容拡大

- ・ 業務系クラウドサービスのシェア拡大とIoTを活用した安全、安心、運用など新サービスの展開

● ヘルスケア（健康支援）クラウドサービス事業の拡大

- ・ 企業、自治体などの健康経営のサポート（従業員の健康管理と職場環境の改善）
- ・ リハビリ、介護施設など高齢者社会への対応

● 生産設備、製造現場のIoTサービスモデルの確立

(単位：百万円)

		2017年12月期	2018年12月期	
		実績	見通し	前期比増減
情報部門	受注高	1,188	1,300	+9.4%
	売上高	1,019	1,200	+17.8%
	セグメント利益	23	70	+204.3%
	セグメント利益率	2.3%	5.8%	+3.5%

【サービス部門】

- **環境・省エネ・安心・安全ソリューション商材、サービスの提供**
 - ・ 高機能、高効率、IoTサービスなどシステム製品、保守サービス提案
- **新エネルギー・再生可能エネルギー向けシステムの提案**
 - ・ 太陽光発電、小水力発電システム向け製品、メンテナンスサービスの拡大
- **グループ海外拠点を活用した輸出入事業の拡大**
 - ・ 中国、東南アジアからの商材の調達および国内グループ製品の拡販

(単位：百万円)

		2017年12月期	2018年12月期	
		実績	見通し	前期比増減
サービス 部門	受注高	3,460	2,800	▲19.1%
	売上高	1,546	2,600	68.2%
	セグメント利益	63	80	27.0%
	セグメント利益率	4.1%	3.1%	▲1.0%

【その他部門】

●中国・東南アジア市場の販売チャネルの確立と電子制御機器・コンポーネント製品の開発

- ・V2H（電気自動車）関連設備向けコンポーネント製品、電子機器の開発
- ・海外ニーズ、規格に合致した製品の販売および生産拠点の生産拡大

●オプトロニクス製品（機能性液晶フィルム）の事業基盤の確立

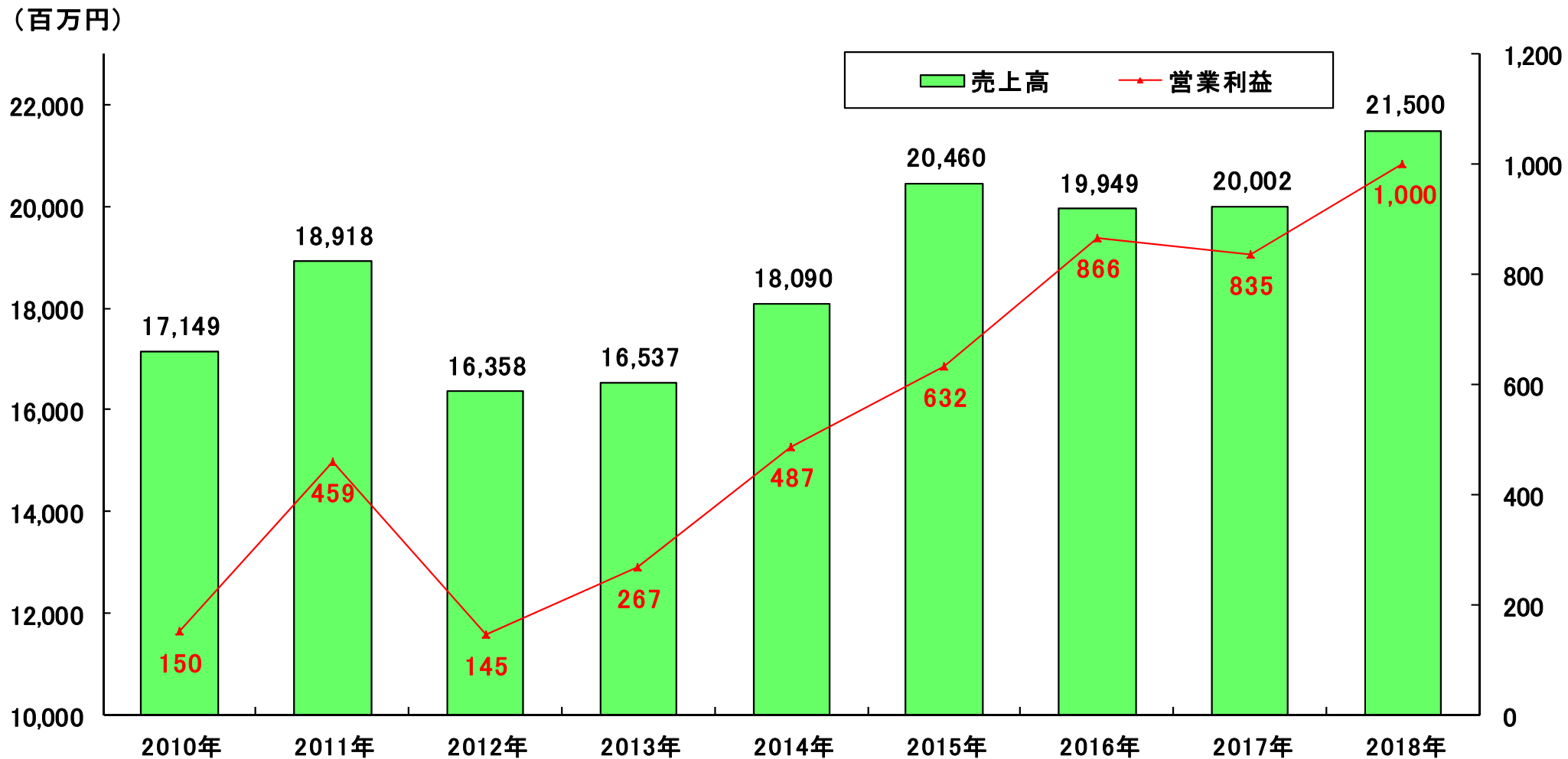
- ・大型パーテーション製品をベースとしたオフィス、建材関連市場向け販売の拡大
- ・アミューズメント、車両など新分野での用途製品の開発

（単位：百万円）

		2017年12月期	2018年12月期	
		実績	見通し	前期比増減
その他	受注高	1,798	2,000	+11.2%
	売上高	1,754	1,900	+8.3%
	セグメント利益	45	140	+211.1%
	セグメント利益率	2.6%	7.4%	+4.8%

(2) 売上・営業利益の推移

●年間業績



● 中間業績

